

間接蒸気式加湿器

UC-YD10~200 (標準仕様)

取扱説明書

要保存

この度はユーキャン間接蒸気式加湿器をお買上げいただき誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、取付、保守、点検を行って下さい。
取付け完了後はお使いになる方がいつでも見られるところに保管して下さい。

もくじ

安全上のご注意	1	9) 運転・管理	7
1) 仕様	1	9-1. 運転準備	
2) 本体外形図	2	9-2. 運転	
3) 加湿器の取付	3	9-3. 日常運転管理	
3-1. 本体取付工事		9-4. 長期間休止の場合	
3-2. 基礎ボルト固定工事		9-5. 安全保護機能	
3-3. 各配管・部材・電気/計装工事、 施工の点検・注意事項		10) 保守・点検	9
4) 各部の名称	6	11) 故障の原因・処置	9
5) 操作部の名称と機能	7	11-1. 故障と判断される前に	
6) 動作・操作	7	11-2. 故障のチェックと診断	
7) ディップスイッチの設定	7	附図	11
8) 配線系統図	7		

安全上のご注意

- 取付工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ取り付けて下さい。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守って下さい。表示と意味は次のようになっています。

 警告	誤った取扱をすると人が死亡したり、または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取扱をすると人が傷害を負ったり、 ^{*1} 物的損傷の発生が想定される内容を示します。

*1 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などを指します。

*2 物的損傷とは、財産、資材の破損にかかわる拡大損傷を指します。

- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、お客様に取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明して下さい。また、この取扱説明書はお客様で保管いただくよう依頼して下さい。

警告

取付工事は、販売店または専門業者に依頼すること

ご自分で据え付け工事をされると、水漏れや感電、火災の原因になります。

取付工事は、この取扱説明書に従って確実にすること

据え付け工事に不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」および取扱説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用すること。

電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部分にケーブルの外力が伝わらないように固定すること

接続や固定が不完全な場合は、火災などの原因になります。

アースは必ず接続すること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線には接続しないで下さい。

アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

部品交換などの保守を行う際には必ず電源を切ること

感電の原因になります。

注意

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないこと

万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると、発火の原因になります。

直射日光や風雨が直接当たる場所へは設置はしないこと

感電や故障の原因になることがあります。

加湿器本体を使用する場合は必ず空調機とインターロックを取ること

空調機とインターロックをとらない場合は、空調機のファンが停止後も加湿運転は継続され、空調機やダクト内に結露を生じ、水漏れや感電の原因になります。

給排水工事は配管工事専門の業者に依頼すること

ご自分で配管工事をされると、水漏れの原因になります。

ドレンパンおよびドレン配管は、確実に排水するように施工すること

配管工事に不備があると水漏れし、施設や物品を濡らす原因になることがあります。

加湿器の故障による運転停止により、保管物に重大な影響を及ぼす恐れがある場所に設置する場合には予備機の設置をおすすめします。

事故により損害が発生すると予想される場所に設置する場合には、二重、三重の安全対策を行うこと

湿度調節器やリレー、送風機の故障で結露や水漏れし、施設や物品を濡らす原因になることがあります。

1) 仕様

附図 1 ご参照下さい。

2) 本体外形図

附図 2 をご参照下さい。

3) 加湿器の取付

3-1. 本体取付工事

警告

取付工事は、販売店または専門業者に依頼すること

ご自分で据え付け工事をされると、水漏れや感電、火災の原因になります。

据え付け工事は、この取扱説明書に従って確実にすること

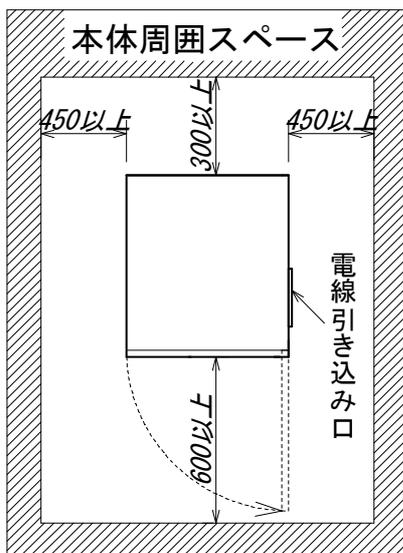
据え付けに不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

注意

給排水工事は配管工事専門の業者に依頼すること

ご自分で配管工事をされると、水漏れの原因になります。

取付工事に際し、本体に付属している正規部品のみを使用して下さい。



加湿器本体は保守サービスが容易に行えるよう、本体上下、左右に十分なサービススペースをとって設置して下さい。また、前面パネルの前は 600 mm 以上あけて下さい。

加湿器本体は、高効率加湿を行うため、蒸気ホースをできるだけ短くできるよう、蒸気噴霧管のすぐそばに設置して下さい。

注意) 本加湿器は屋内に取付けて下さい。

注意) 本加湿器は周囲温度 5℃以上 50℃以下、凍結、結露しない環境でご使用下さい。

※天井は本体より 300 mm 以上のスペースを取って下さい。

3-2. 基礎ボルト固定工事

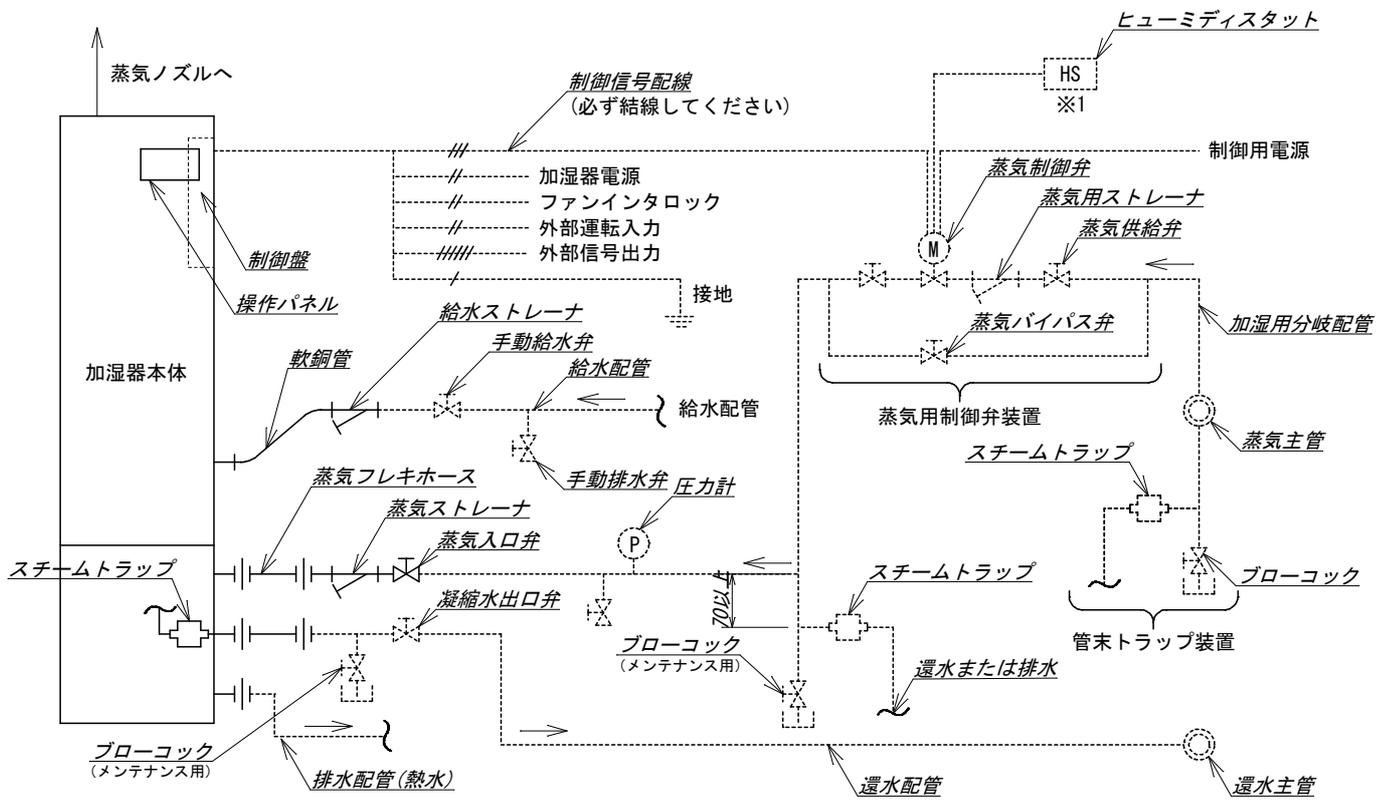
附図 2 外形図に表記の基礎ボルト穴位置に十分強度を有するアンカーボルトのサイズ、本数及び深さにて基礎に固定して下さい。

3-3. 各配管・部材・電気/計装工事、施工の点検・注意事項

項目	部材	点検・注意事項
1. 給水配管	① 給水配管	仕様書に記載事項の使用条件を厳守して下さい。尚、公共の水道管からの直結は出来ませんので注意して下さい。
	② 手動給水弁	保守・点検の為、必ず設置して下さい。
	③ 手動排水弁	運転初期、加湿シーズンイン及びオフ時には配管内水のフラッシングの為に必要です。 運転時には水質に濁りやスラッジが無い事を確認して通水して下さい。
	④ 保温材	凍結・結露防止の為に必ず施工して下さい。
2. 蒸気配管 (一次側)	① 蒸気配管	0.2MPa より高い場合には減圧して支給して下さい。
	② 管来トラップ	蒸気主管の管末に設置しドレンを排出して下さい。
	③ 加湿用分岐管	加湿器専用に蒸気主管又は、蒸気ヘッドから分岐し、必ず上部取り出しとして出来るだけ短くなるように配管して下さい。
	④ 蒸気用制御弁装置	蒸気用制御弁、ストレーナー、供給弁、バイパス弁等で構成し、必ず1台につき1セットをご用意下さい。
	⑤ 分岐配管トラップ	分岐配管の下端には必ずスチームトラップを設置し、ドレンが加湿器に流れ込まないようにして下さい。
	⑥ ブローコック	蒸気配管のドレン、汚水の排水の為、分岐管の下端に必ず設置して下さい。
	⑦ 保温材	高温、火傷防止の為に必ず施工して下さい。
	⑧ ユニオン・フランジ	保守・点検作業が行える様適切な箇所にユニオン及びフランジ継手を設置し、配管して下さい。
3. 還水配管	① 還水配管	加湿器からの還水主管への接続は、蒸気配管と同様に上回し接続として下さい。
	② 凝縮水出口弁	保守点検作業の安全の為に、必ず設置して下さい。
	③ 逆止弁	加湿器から還水管を立ち上げる場合には逆流防止の為に、必ず設置して下さい。
	④ 排水弁	配管の水抜きが出来るよう適所に設置して下さい。
	⑤ 二段リフト	高所還水の場合には二段リフト方式とし、5m以内として下さい。
	⑥ 保温材	配管の保温は安全の為に必ず行って下さい。
	⑦ ユニオン・フランジ	保守・点検作業が行える様適切な箇所にユニオン及びフランジ継手を設置して配管して下さい。
	⑧ スチームトラップ	加湿器内に内蔵されていますので、新しく用意して設置する必要はありません。
	⑨ ブローコック	サービス時及び不具合時に使用します。加湿器の凝縮水出口付近に施工して下さい。
4. 排水配管	① 排水配管	材質は配管用炭素鋼管など、耐熱性(100℃以上)の物を使用し、必ず3/100以上の先下がり勾配で配管して下さい。又、必ず大気開放として下さい。
	② 保温材	配管の保温は安全の為に必ず行って下さい。
5. 電気/計装		電源が加湿器の仕様に合っているか確認して下さい。
		別紙「電気系統図」、「詳細取扱説明書」を参照の上、誤配線、未配線が無い確認し、確実に施工して下さい。
		蒸気制御弁にヒューミディスタットからの信号が来ているか確認して下さい。

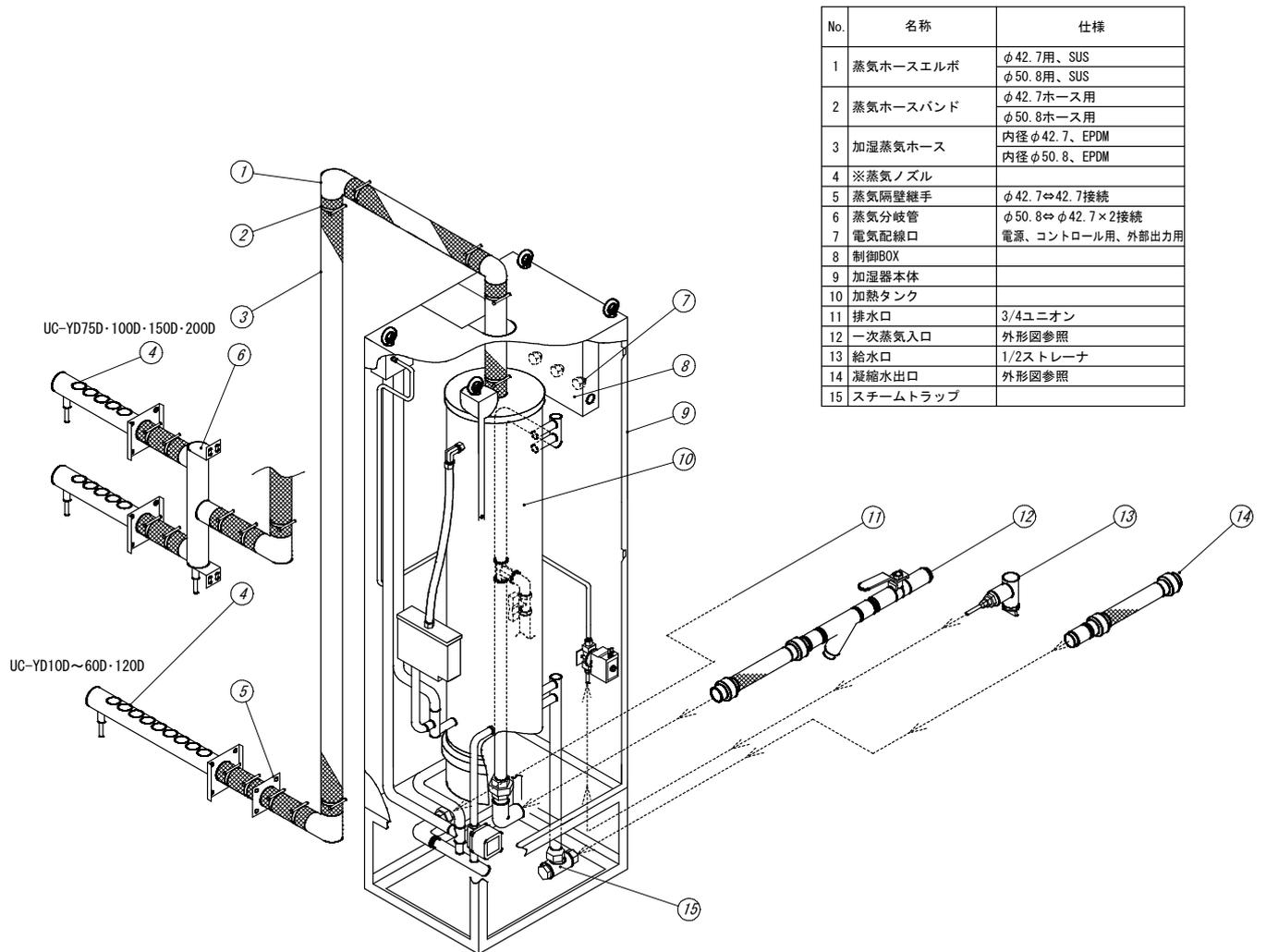
		加湿器制御盤とファンインターロックの配線がされているか確認して下さい。
		遠方発停や外部信号があれば所定の配線がされているか確認して下さい。
		蒸気制御弁に仕様通りの電源が来ているか確認して下さい。
		加湿器本体のアースは取っているか確認して下さい。
		加湿器制御盤と蒸気制御弁との制御結線がされているか確認して下さい。
		注意 ① 蒸気制御弁とのインターロックが必要です。 ・加湿器停止で端子台 2-3 が導通となります。 蒸気制御弁を強制全閉になるように配線して下さい。 ・加湿器運転状態で端子台 1-2 が導通となります。 導通を確認してから蒸気制御弁がコントロール出来るように配線して下さい。 ② 遠方運転の場合 ・外部運転入力 ON の時、加湿器は給水を開始し、運転準備に入り、運転準備完了で待機となります。 (ファン運転信号待。外部運転入力 OFF でタンク内排水) ・ファン運転信号 ON の時、加湿器待機状態であれば加湿器運転状態となり、端子台 1-2 が導通となります。 ③ 遠方運転で外部運転入力がない場合 ・ファン運転信号を外部運転入力に個々に配線して下さい。この場合、ファン運転信号 OFF でタンク内の水を排水します。 ④ 手元運転の場合 ・ファン運転信号は必要です。ファン運転信号 ON で蒸気制御弁インターロック端子 1-2 が導通します。
		蒸気制御弁にヒューミディスタットからの信号が来ているか確認して下さい。
		加湿器制御盤とファンインターロックの配線がされているか確認して下さい。
		遠方発停や外部信号があれば所定の配線がされているか確認して下さい。
		蒸気制御弁に仕様通りの電源が来ているか確認して下さい。
		加湿器本体のアースを取っているか確認して下さい。
		加湿器制御盤と蒸気制御弁との制御結線がされているか確認して下さい。
6. 蒸気配管 (加湿器)	① 蒸気ホース配管	・加湿器と蒸気噴霧管との距離は出来るだけ短くし、蒸気ホース内でのドレンの発生量を最小限にすることが加湿効率を高めることとなります(最長 3m 以内)。 ・蒸気ホースは途中ねじれ、潰れ、たるみがないように設置して下さい。さらにホースの配管後、実際に加湿運転を行って、十分にホースが温まった状態で再度ホースのたるみ等の変形がないかチェックして下さい。また、配管の途中には絶対にドレン溜まりができないようにし、曲げ部分は付属のエルボを使用するか、大きな半円になるよう配管して下さい。

② 蒸気ノズルの取付	<ul style="list-style-type: none"> • 蒸気噴霧管から出た蒸気が十分に蒸発するためには一定の蒸発距離が必要です。 • 蒸気噴霧管と、他の部分(送風機、フィルター、ダクトベントなど)まで必要最小限度以上の蒸発距離を確保して下さい。 • 加湿器にあった蒸気ノズルを使用して下さい。蒸気の出口は常に風の流れに対し垂直になるように取付けて下さい。 <p>また、蒸気ノズル固定部にはノズルの重量がかかります。取付面を補強してしっかりと固定して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 蒸気ノズルは先上がりに取付しないで下さい。ドレン水が抜けなくなります。 • 蒸気ノズル取付例は図.1 と別紙加湿器各部名称図を参照して下さい。
③ 蒸気分岐管	<p>加湿器 UC-YD75・100・150・200 タイプは蒸気分岐管を使用します。(加湿器各部名称図参照)</p> <p>蒸気分岐管と蒸気ノズル間の蒸気ホース長は、蒸気均等分配の為、同じ長さにして下さい。取付はドレン口が下になるように取付けて下さい。</p>
④ ドレン配管	<p>蒸気ノズル、蒸気分岐管には必ずドレン配管を施工して下さい。ドレンは加湿チャンバーの排水又は、排水管へ接続して下さい。ダクト静圧が大きく、ドレン出口より空気が吹き出したり吸い込みがある場合には、ドレン配管にトラップを作して下さい。</p>



注：破線は客先施工 ※1 比例制御方式の場合は、蒸気制御弁が比例制御型となります。コントロール信号を蒸気制御弁に合わせて下さい。
 ※2 還水配管にスチームトラップの取付は不要です(本体内蔵)。

4) 各部の名称



5) 操作部の名称と機能

別紙「詳細取扱説明書 (Page. 4/12)」をご参照下さい。

6) 動作・操作

別紙「詳細取扱説明書 (Page. 5/12～9/12)」をご参照下さい。

7) ディップスイッチの設定

別紙「詳細取扱説明書 (Page. 10/12)」をご参照下さい。

8) 配線系統図

別紙「詳細取扱説明書 (Page. 11/12)」をご参照下さい。

9) 運転・管理

9-1. 運転準備

- ① 蒸気用のストレーナ・トラップのキャップ、その他各種弁、コックの閉を確認する。
- ② 加湿器組み込みの空調機を運転する。
- ③ 手動給水弁を開ける
- ④ 蒸気配管の蒸気供給弁を徐々に開ける。
- ⑤ 蒸気入口弁及び、凝縮水出口弁を開ける
- ⑥ ヒューミディスタットの設定値が希望通りになっている事を確認する。
- ⑦ 加湿器の漏電ブレーカー（電源元スイッチ）及び蒸気用制御弁の電源をONにする。

9-2. 運転

- ① 電源ランプ（白）が点灯しているか確認する。
- ② 運転を手元か遠方の何れかを選択する。
- ③ 運転スイッチをONにする。（加湿蒸気が発生するまで若干の立ち上がり時間を要します。）
- ④ 自動運転

運転開始後は、加湿タンク内の水位レベルは「1 レベルスイッチ制御」の場合、給水発停のディファレンシャル設定時間で一定レベルに自動的に制御されます。（通常の設定値）

「2 レベルスイッチ制御」の場合には、給水ON・OFFレベルのフロートスイッチにより自動制御されます。

給水ディファレンシャル時間は4パターンの時間を設定出来ます。

※詳しくは別紙「詳細取扱説明書」のディップスイッチ設定表をご参照下さい。

- ⑤ ブロー運転

運転中の給水電磁弁動作時間を積算し、設定時間に到達すると自動排水を行います。

ブロー時間は8パターンの時間を設定出来ます。

※詳しくは別紙「詳細取扱説明書」のディップスイッチ設定表をご参照下さい。

9-3. 日常運転管理

- ① 加湿器はヒューミディスタットからの加湿信号、若しくは空調機からの発停に伴って自動発停します。従って長期間休止の場合を除き、特に加湿器のスイッチや各種バルブを操作する必要はありません。
- ② 加湿器の電源を OFF にすると、万一何らかの異常が発生しても加湿器の安全・保護機能が作動しませんので停止中も加湿器の元電源及び電源スイッチは ON の状態にしておいて下さい。
- ③ 保守点検は別紙（Page.8）ご参照の上、定期的に保守・点検作業を実施して下さい。

9-4. 長期間休止の場合

- ① 1 週間以上運転を休止する場合や、加湿器シーズンオフ時など長期間運転しない場合には下記の処置をして下さい。
 - ・ 蒸気配管の蒸気供給弁を閉にする。
 - ・ 蒸気入口弁、凝縮水出口弁を閉にする。
 - ・ 加熱タンク内水は加湿器を停止すると自動的に全量排水されますので特に衛生面の配慮は必要ありません。

9-5. 安全保護機能

- ① 湯水異常
レベルタンクの水位が 5 分間継続して湯水レベルに達しない場合、湯水ランプ（赤）を 500ms 点滅させ、ブザーを鳴動させます。
- ② 溢水異常
運転中、フィーディングカップ水位が 30 秒間連続して溢水レベル以上にあると溢水ランプ（赤）を 500ms 点滅させブザーを鳴動させます。
- ③ 漏水異常
運転を開始にて 1 回目の給水終了後、空調機ファン運転信号が無い状態で、給水動作が 10 分間で 5 回行われると漏水ランプ（赤）を 500ms 点滅させ、ブザーを鳴動させます。
- ④ 排水異常
ブロー運転終了時レベルタンク水位が湯水レベル以上あると排水ランプ（赤）を 500ms 点滅させ、ブザーを鳴動させます。
- ⑤ 給水異常
運転開始後及びブロー運転終了後の 1 回目の給水時、レベルタンク水位が設定時間（給水異常時間）内に給水 OFF レベルに達しない場合、湯水、溢水、漏水、排水異常の各ランプ（赤）を 500ms 点滅させ、ブザーを鳴動させます。
- ⑥ レベルスイッチ、チェック異常
運転開始 1 回目の給水時に各レベルスイッチ信号の入力及び正規データーとの比較を行いデーター不一致の場合は、湯水、溢水、漏水、排水、定期点検の各ランプを同時に 500ms 点滅させ、ブザーを鳴動させます。（250ms 断続）
※ 詳しくは別紙「詳細取扱説明書」の異常時の動作をご参照下さい。

10) 保守・点検

作業項目

- (1) 設置後初めての運転開始前……給水配管のフラッシング
- (2) 設置後の運転初期（運転開始後 1～2 日目）……給水、蒸気用の各ストレーナー清掃
- (3) 年一回……① 給水・蒸気用の各ストレーナー清掃

② 加熱タンク清掃（タンク下部蓋のヘルール脱着）

③ 加湿器制御盤点検

※1 加熱タンクは上部蓋もワンタッチレバーで脱着が容易に出来ます。

※2 熱交換器は SUS 製なので上、下部蓋を外してスケールが付着している場合のみ、金属ブラシ等で清掃して下さい。

※3 タンク下部蓋を外す時は温水が溜まっているので温度が下がっているのを確認し、安全に注意して下さい。又、下部蓋内水がこぼれても支障が無い様に養生してから外して下さい。

11) 故障の原因・処置

11-1. 故障と判断される前に

正常に動作をしない場合でも必ずしも故障が発生していない場合がありますので、下記項目を確認して下さい。

- ① 加湿器に電源が供給されているか。
- ② 蒸気用制御弁に電源が供給されているか。
- ③ 断水されていないか
- ④ 給水弁が閉まっていないか
- ⑤ 供給蒸気（一次側）が供給されているか
- ⑥ 加湿器の運転スイッチが入っているか、又は運転切り替えスイッチが遠方になっていないか
- ⑦ ヒューミディスタットの設定が低くなっていないか
- ⑧ 空調機が運転されているか（ファンインターロック）

11-2. 故障のチェックと診断

- ① 次のページの一覧表をご参照の上、適切な処置をして下さい。
- ② 安全保護機能が作動して表示灯及び、ブザーが鳴動した場合には自動停止します。原因を調査し、処置をした後、加湿器本体の電源スイッチを ON にして下さい。

故障のチェックと処置

項目	状態	予想原因	処置
運転しない	電源表示消灯	漏電ブレーカーが OFF	ON にする
		電源スイッチが OFF	ON にする
		ヒューズの破断	サービス依頼
	電源表示点灯	蒸気（一次側）が供給されない	供給する
		蒸気供給弁が閉	開にする
		蒸気入口弁が閉	開にする
		凝縮水出口弁が閉	開にする
		蒸気制御弁への電源が OFF	ON にする
		空調機が停止	運転する
		ヒューミディスタットが低い	設定値を上げる
		加熱タンク排水弁不良	サービス依頼
	湯水表示	入口給水圧が低い	ポンプアップする
		給水ストレーナーの目詰まり	清掃する
		給水入口弁が閉	開にする
		給水電磁弁不起動	サービス依頼
	溢水表示点灯	給水電磁弁不良	サービス依頼
	漏水表示点灯	排水電動弁のリーク	サービス依頼
排水異常表示点灯	熱タンク底部スケール堆積	加熱タンク清掃	
	排水管目詰まり	排水管の清掃	
	排水電動弁の不良	サービス依頼	
バリュースイッチ異常点灯	フロートスイッチ不良	サービス依頼	
加湿不足	加湿不足	ヒューミディスタットの設定値が低い	調整する
		供給蒸気圧が低い	調整する
		蒸気ホースの距離が長い 若しくは、たるみがある	サービス依頼
		蒸気ストレーナー目詰まり	清掃する
		スチームトラップ不良	サービス依頼
		一次蒸気バイパス弁閉	閉にする
		熱交換器にスケールの付着	清掃する、又は サービス依頼

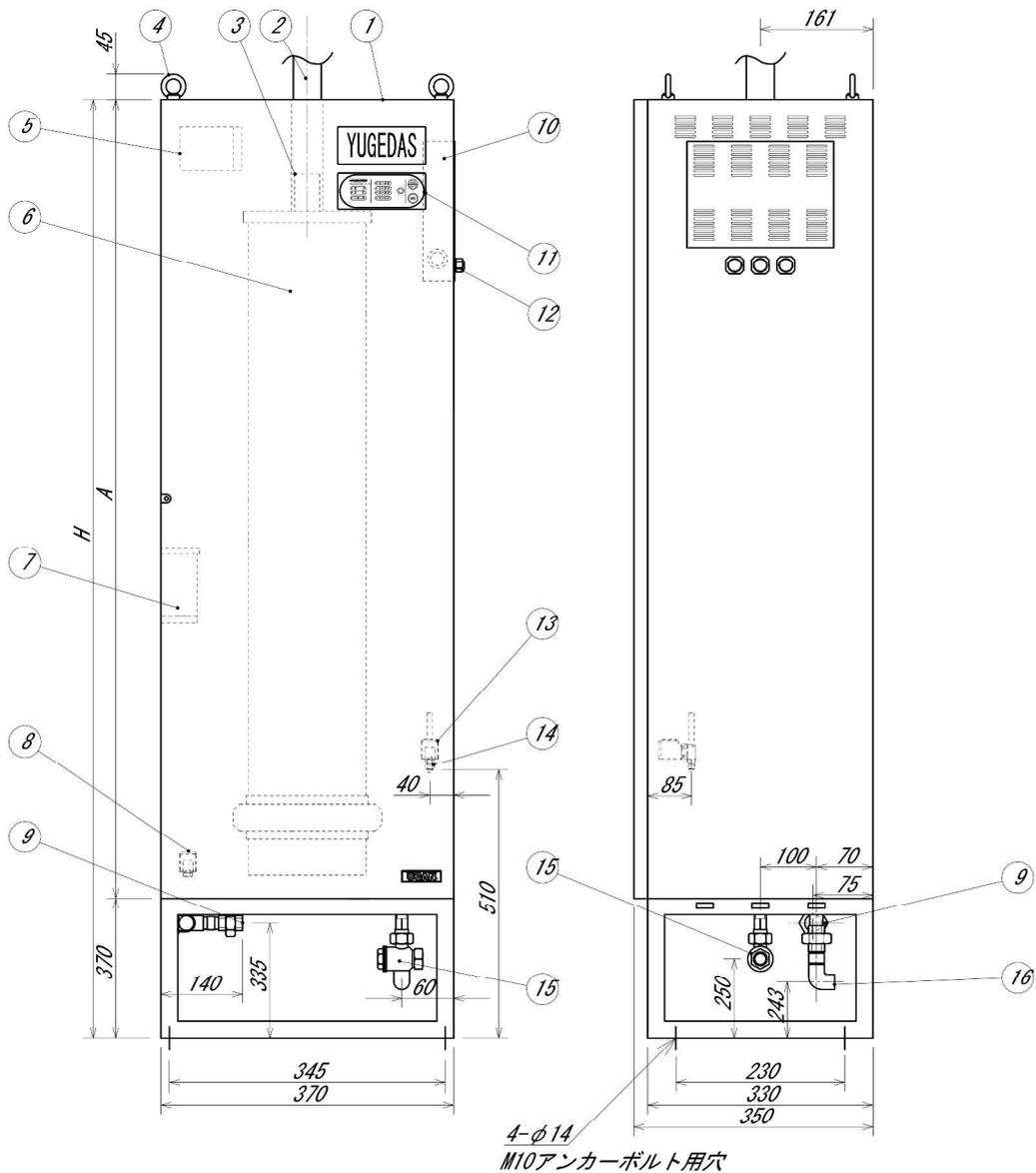
上記の対処で解決出来ない場合には給水手元バルブを閉めて、施工業者、メンテナンス会社又は、ユーキャン株式会社営業所又は本社へ連絡して下さい。

附図1 仕様一覧表

名称		間接蒸気式加湿器 「ユゲダス」 UC-YD型										
型式		UC-YD 10	UC-YD 20	UC-YD 30	UC-YD 40	UC-YD 50	UC-YD 60	UC-YD 75	UC-YD 100	UC-YD 120	UC-YD 150	UC-YD 200
加湿蒸気量	kg/h	10	20	30	40	50	60	75	100	120	150	200
供給蒸気圧力	MPa(kgf/cm ²)	0.2(2.0)										
電源		単相 AC200V50/60Hz										
消費電力	W	20									26	
運転時質量	kg	42	48	53	59	71	75	96	112	138	176	207
本体塗装色		マンセル 5Y7/1レザートーン										
蒸気ノズル	標準本数	1本					2本				4本	
	外径×長さ	φ42.7-種類 長さ:150・300・450・600・900・1200・1500mm										
安全保障機能		湯水、溢水、漏水、排水異常を表示し運転停止。プザー鳴動(連続・5分間選択)で異常を報知。定期点検時期をランプで報知。										
外部信号		外部入力端子(ファンインターロック・外部運転)付 外部出力端子(運転・異常・定期点検)付										
適合蒸気制御弁	サイズ	15A					20A				32A	
	CV値	0.85	1.7	2.5	3.4	4.2	5.0	6.3	8.4	10.1	12.6	16.8
使用条件	本体周囲温湿度	屋内 5~50℃(結露しないこと)										
	蒸気ノズル周囲許容静圧	±1.5kPa(±150mmH ₂ O)										
	蒸気ホース許容長さ	標準長さ3m(付属品)。屋内配管で標準仕様蒸気ホース使用の場合5m(オプション)。それ以上は条件によります。(別途ご相談ください。)※2										
	給水水質	軟水器UWS、UWOSをご使用下さい。(純水を使用の場合は、特注仕様となります。)※1										
	給水圧力	MPa(kgf/cm ²)	0.05~0.5(0.5~5)									
給水温度		5~40℃										
電気特性		電圧許容範囲 ±10%以内 絶縁抵抗 100MΩ以上(制御盤を除く) 絶縁耐圧 AC1500V 1分間(制御盤を除く)										
構成		加湿器本体(制御盤内蔵)、フレキホース、蒸気入口弁、蒸気ノズル、蒸気ホース、蒸気ホースエルボ、蒸気ホースニップル又は蒸気分岐管、ドレン用軟銅管、給水軟銅管、給水ストレーナ、取扱説明書一式										
交換部品		ガスケット一式										
客先ご用意品		供給蒸気配管(蒸気供給弁、蒸気ストレーナ、減圧弁、蒸気用制御弁、スチームトラップ、ブローコック、圧力計、配管水抜弁等) 還水配管(凝縮水出口弁等) トラップ取付不要 給水配管(給水入口弁、手動排水弁等) 排水配管(3:100程度の先下り勾配、100℃耐熱、大気開放) 電気配線(漏電ブレーカ、アース配線、蒸気制御弁配線、ファンインターロック配線、その他の信号配線等)										
注意事項		<ol style="list-style-type: none"> 供給蒸気量(一次蒸気量)は、加湿蒸気量の約1.2倍を目安にして下さい。 蒸気発生量は供給一次蒸気圧0.2MPa(2.0kgf/cm²)の時の値を表示しています。 加湿器本体は、必ず床面に固定して下さい。(壁掛式はオプション) 蒸気制御弁のCV値は、弁前後の圧力差を0.02MPaとした場合を示します。 本加湿器は、圧力容器の適用を受けません。 加湿蒸気側での能力制御はできません。1次蒸気側に蒸気制御弁を入れて制御して下さい。 当社標準仕様蒸気ホース(材質・口径)で5m以内で配管して下さい。それ以上は条件にもよりますが、加湿能力不足、不具合が生ずる場合があります。 熱交換器、タンク内部は、使用状況によって繰返し点検、清掃が必要です。詳しくは、取扱説明書をご参照下さい。 スチームトラップを内蔵していますので、凝縮水出口以降にトラップを設ける必要はありません。 蒸気制御弁、ファンインターロック配線は、必ず接続して下さい。正しく配線されていないと、加湿器は誤作動することがあります。 										
 安全に関するご注意		<ol style="list-style-type: none"> ご使用前に、製品添付の説明書類をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。 本製品は、専門業者の管理の下にご使用ください。 取付工事、電気工事は、専門業者に依頼して下さい。 本製品は、定期的な保守点検作業が必要です。保守点検作業は、当社又は専門業者にご相談下さい。 										

※1・供給水が、水道水ですとブリードオフ状況にもよりますが、熱交換器へのスケールの固着による加湿蒸気量の低下が生じます。
 ・供給水が純水(RO膜式・純水器)の場合は、それぞれの電気伝導率の程度によって特注仕様となりますので、水質を必ず御指示下さい。
 ※2・本体から蒸気ノズルの加湿蒸気ホース(配管)に蒸気制御弁、仕切弁等は絶対に設けないで下さい。(内圧が上昇して危険です。)

附図2 本体外形図
UC-YD10~60



4-φ14
M10アンカーボルト用穴

※ご注意
蒸気・凝縮水・給排水管接続位置寸法は、参考寸法とします。

付属品表

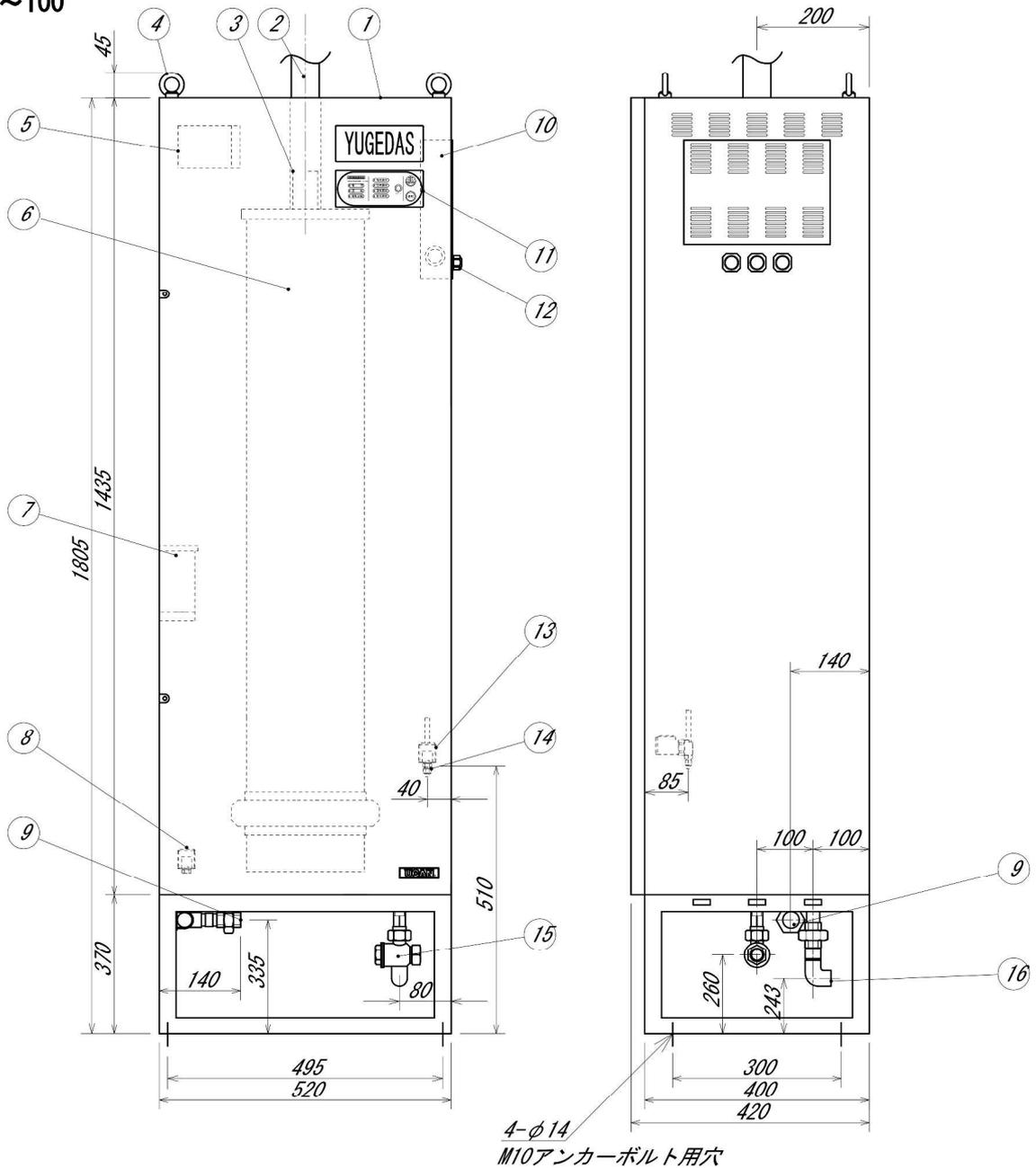
	名称	数量	
		UC-YD10~30 (R)	UC-YD60 (R)
加湿蒸気配管部品	蒸気ノズル YD10用 (長さ150)	1	-
	蒸気ノズル YD20用 (長さ300)		
	蒸気ノズル YD30用 (長さ450)		
	蒸気ノズル YD40用 (長さ600)		
	蒸気ノズル YD50用 (長さ900)		
	蒸気ノズル YD60用 (長さ1200)	-	1
	蒸気ノズル取付ビス (M4×12)	4	4
	ドレン管 (φ8銅管×1mフレア継手付)	1	1
	蒸気ホース隔壁継手 (φ42.7)	1	1
	蒸気小一ス隔壁継手取付ビス (M4×12)	4	4
蒸気ホースエルボ (φ42.7)	3	3	
蒸気ホース (φ42.7×3m)	1	1	
蒸気ホースバンド	10	10	
蒸気入口配管部品	蒸気入口バルブ (Rc1/2)	1	-
	蒸気入口バルブ (Rc3/4)	-	1
	ストレーナ (Rc1/2)	1	-
	ストレーナ (Rc3/4)	-	1
	両ユニオンフレキホース (Rc1/2×300)	1	-
	両ユニオンフレキホース (Rc3/4×300)	-	1
	ニップル (R1/2)	3	1
ニップル (R3/4)	-	2	
プッシュ (3/4×1/2)	-	1	
凝縮水配管部品	両ユニオンフレキホース (Rc1/2×300)	1	-
	両ユニオンフレキホース (Rc3/4×300)	-	1
	ニップル (R1/2)	1	1
	プッシュ (3/4×1/2)	-	1
給水配管部品	ストレーナ (Rc1/2)	1	1
	給水管 (φ8銅管×2m フレア継手付)	1	1
その他	本体取付ボルト (№8×20ワッシャー・スプリング・ワッシャー付)	4	4
	取扱説明書	1	1
	詳細取扱説明書	1	1

変化寸法表

型式	寸法	
	A	H
UC-YD 10	940	1310
UC-YD 20		
UC-YD 30		
UC-YD 40	1350	1720
UC-YD 50		
UC-YD 60		

記号	名称	備考
1	ケーシング	マンセル5Y7/1レザートーン
2	加湿蒸気ホース	内径 φ42.7
3	加湿蒸気口	
4	吊ボルト	4-M10
5	給水カップ	SUS304
6	タンク・熱交換器	SUS304 断熱材付
7	水位調整槽	PP
8	排水電磁弁	
9	排水口	RC3/4ユニオン(SUS)
10	制御BOX	
11	操作パネル	
12	電気配線用コネクター	適応外径φ9~φ11
13	給水電磁弁	
14	給水接続口	φ8用フレア継手
15	凝縮水出口	RC1/2スチームトラップ
16	一次蒸気入口	RC1/2エルボ(SUS)

UC-YD75~100



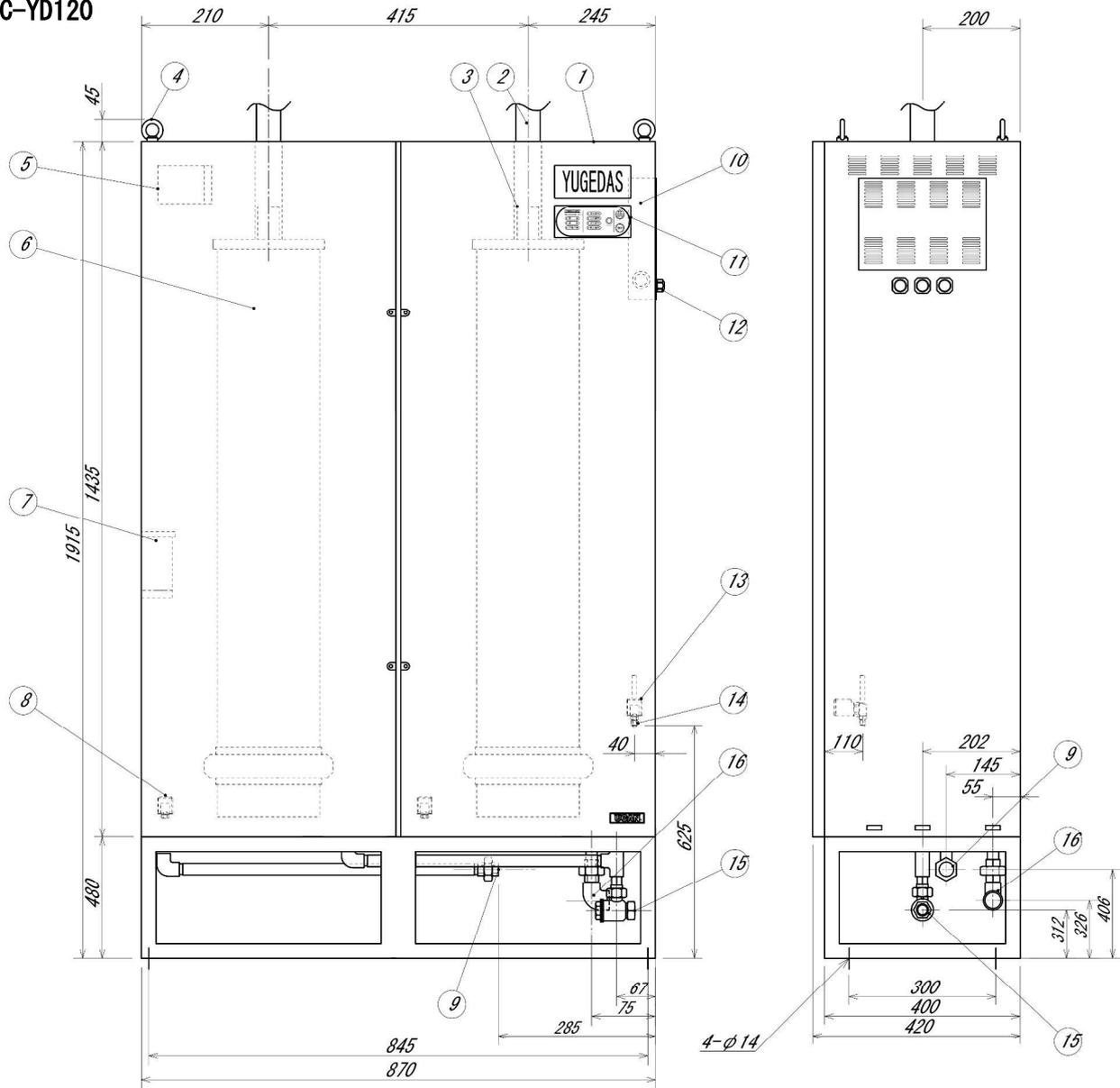
※ご注意
蒸気・凝縮水・給排水管接続位置寸法は、参考寸法とします。

付属品表

	名称	数量	
		UC-YD75 (R)	UC-YD100 (R)
加湿蒸気配管部品	蒸気ノズル (長さ1200)	2	-
	蒸気ノズル (長さ1500)	-	2
	蒸気ノズル取付ビス (M4×12)	8	8
	蒸気分岐管	1	1
	蒸気分岐管取付ビス (M4×12)	4	4
	ドレン管 (Φ8鋼管×1mフレア継手付)	3	3
	蒸気ホースエルボ (Φ50.8)	3	3
	蒸気ホース (Φ50.8×1.5m)	1	1
	蒸気ホース (Φ42.7×3m)	1	1
	蒸気ホースバンド	12	12
蒸気入口配管部品	蒸気入口バルブ (Rc3/4)	1	1
	ストレーナ (Rc3/4)	1	1
	両ユニオンフレキホース (Rc3/4×300)	1	1
凝縮水配管部品	ニップル (R3/4)	3	3
	両ユニオンフレキホース (Rc3/4×300)	1	1
給水配管部品	ストレーナ (Rc1/2)	1	1
	給水管 (Φ8鋼管×2mフレア継手付)	1	1
その他	本体取付ボルト (M8×20平ワッシャ・スプリング・ワッシャ付)	4	4
	取扱説明書	1	1
	詳細取扱説明書	1	1

記号	名称	備考
1	ケーシング	マンセル5Y7/1レザートーン
2	加湿蒸気ホース	内径 φ50.8
3	加湿蒸気口	
4	吊ボルト	4-M10
5	給水カップ	SUS304
6	タンク・熱交換器	SUS304 断熱材付
7	水位調整槽	PP
8	排水電磁弁	
9	排水口	Rc3/4ユニオン (SUS)
10	制御BOX	
11	操作パネル	
12	電気配線用コネクター	適応外径φ9~φ11
13	給水電磁弁	
14	給水接続口	φ8用フレア継手
15	凝縮水出口	Rc3/4スチームトラップ
16	一次蒸気入口	Rc3/4エルボ (SUS)

UC-YD120



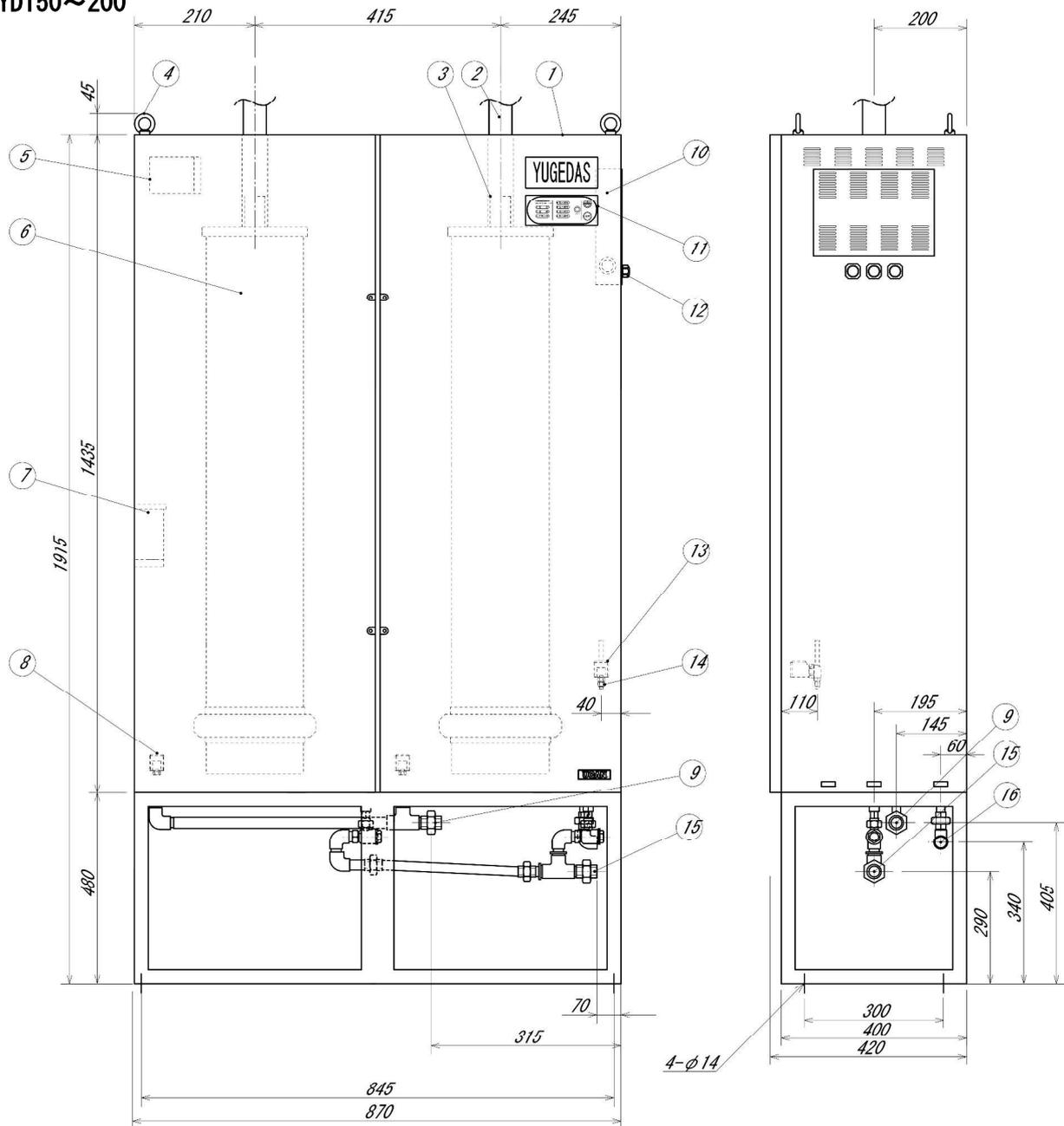
※ご注意
蒸気・凝縮水・給排水管接続位置寸法は、参考寸法とします。

付属品表

	名称	数量
加湿蒸気配管部品	蒸気ノズル (長さ1200)	2
	蒸気ノズル取付ビス (M4×12)	8
	ドレン管 (φ8銅管×1mフレア継手付)	2
	蒸気ホース隔壁継手 (φ42.7)	2
	蒸気ホース隔壁継手取付ビス (M4×12)	8
	蒸気ホースエルボ (φ42.7)	6
	蒸気ホース (φ42.7×6m)	1
	蒸気ホースバンド	20
蒸気入口配管部品	蒸気入口バルブ (Rc1 1/4)	1
	ストレーナ (Rc1 1/4)	1
	両ユニオンフレキホース (Rc1 1/4×300)	1
	ニップル (R1 1/4)	3
凝縮水配管部品	両ユニオンフレキホース (Rc1×300)	1
	ブッシュ (1×3/4)	1
給水配管部品	ニップル (R3/4)	1
	ストレーナ (Rc1/2)	1
その他	給水管 (φ8銅管×2mフレア継手付)	1
	本体取付ボルト (M8×20平ワッシャ・スプリング・ワッシャ付)	4
	取扱説明書 詳細取扱説明書	1 1

記号	名称	備考
1	ケーシング	マンセル5Y7/1レザートーン
2	加湿蒸気ホース	内径φ42.7
3	加湿蒸気口	
4	吊ボルト	4-M10
5	給水カップ	SUS304
6	タンク・熱交換器	SUS304 断熱材
7	水位調整槽	PP
8	排水電磁弁	
9	排水口	Rc1ユニオン (SUS)
10	制御BOX	
11	操作パネル	
12	電気配線用コネクター	適応外径φ9~φ11
13	給水電磁弁	
14	給水接続口	φ8用フレア継手
15	凝縮水出口	Rc3/4スチームトラップ
16	一次蒸気入口	Rc1 1/4エルボ (SUS)

UC-YD150~200



※ご注意

蒸気・凝縮水・給排水管接続位置寸法は、参考寸法とします。

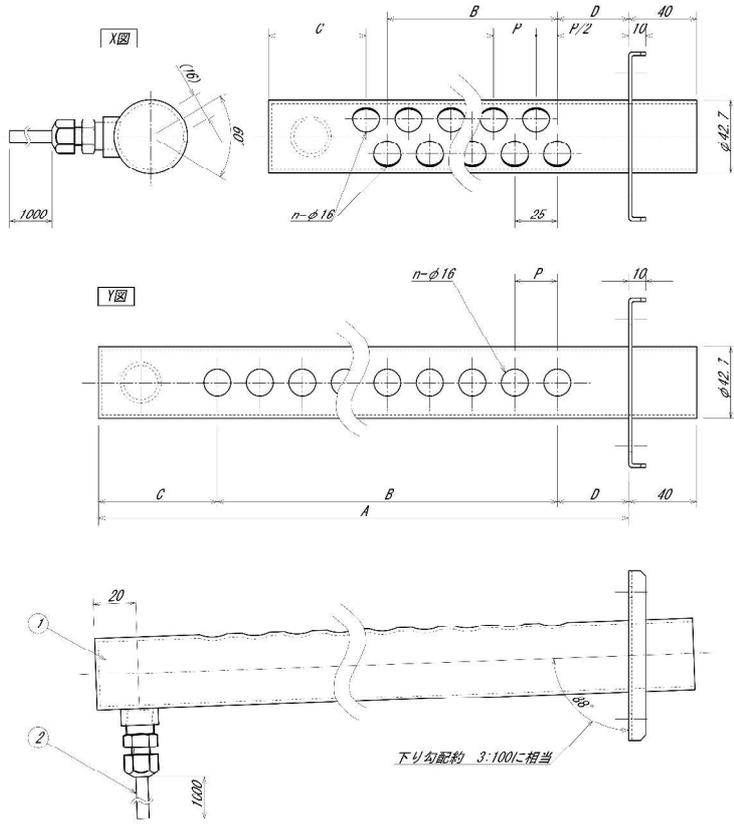
付属品表

	名称	数量	
		UC-YD150 (R)	UC-YD200 (R)
加湿蒸気配管部品	蒸気ノズル (長さ1200)	4	-
	蒸気ノズル (長さ1500)	-	4
	蒸気ノズル取付ビス (M4×12)	16	16
	蒸気分岐管	2	2
	蒸気分岐管取付ビス (M4×12)	8	8
	ドレン管 (Φ8銅管×1mフレア-継手付)	6	6
	蒸気ホースエルボ (Φ50.8)	6	6
	蒸気ホース (Φ50.8×3m)	1	1
	蒸気ホース (Φ42.7×6m)	1	1
	蒸気ホースバンド	24	24
蒸気入口配管部品	蒸気入口バルブ (Rc1 1/4)	1	1
	ストレーナ (Rc1 1/4)	1	1
	両ユニオンフレキホース (Rc1 1/4×300)	1	1
	ニップル (R1 1/4)	3	3
凝縮水配管部品	両ユニオンフレキホース (Rc1×300)	1	1
	エルボ (Rc1)	1	1
	ニップル (R1)	2	2
給水配管部品	ストレーナ (Rc1/2)	1	1
	給水管 (Φ8銅管×2mフレア-継手付)	1	1
その他	本体取付ボルト (M8×20平ワッシャ・スプリング・ワッシャ付)	4	4
	取扱説明書	1	1
	詳細取扱説明書	1	1

記号	名称	備考
1	ケーシング	マンセル5Y7/1レザートーン
2	加湿蒸気ホース	内径φ50.8
3	加湿蒸気口	
4	吊ボルト	4-M10
5	給水カップ	SUS304
6	タンク・熱交換器	SUS304 断熱材
7	水位調整槽	PP
8	排水電磁弁	
9	排水口	Rc1ユニオン(SUS)
10	制御BOX	
11	操作パネル	
12	電気配線用コネクター	適応外径φ9~φ11
13	給水電磁弁	
14	給水接続口	φ8用フレア-継手
15	凝縮水出口	Rc1ユニオン(SUS)
16	一次蒸気入口	Rc1 1/4エルボ(SUS)

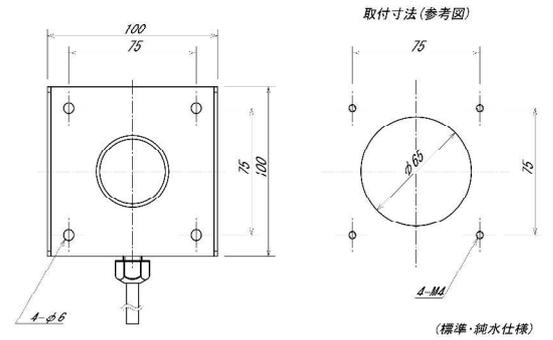
蒸気ノズル外形図

番号	品名	材質	数量	備考
①	蒸気ノズル	SUS-304	1	
②	ドレン管	銅管	1	φ8×φ1m

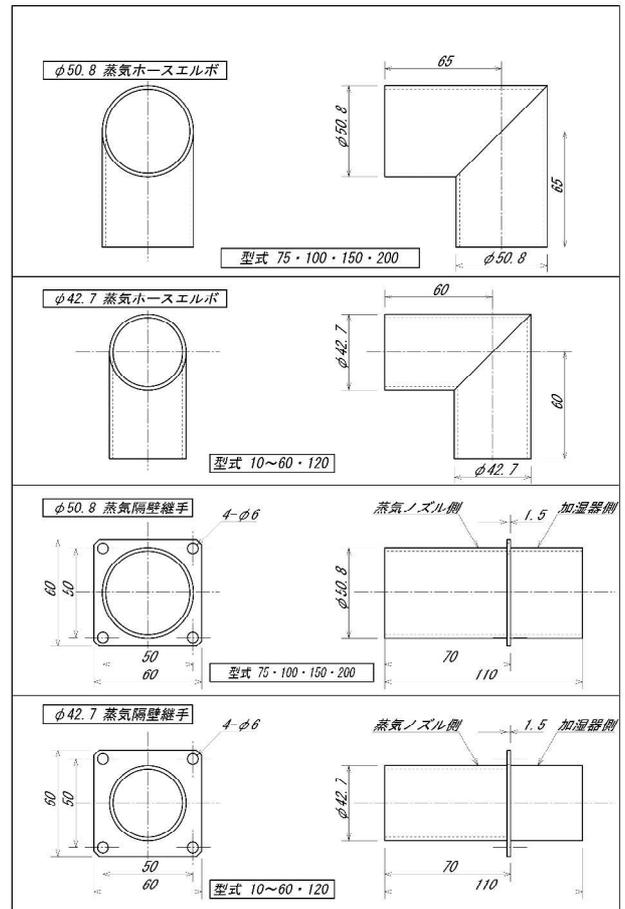
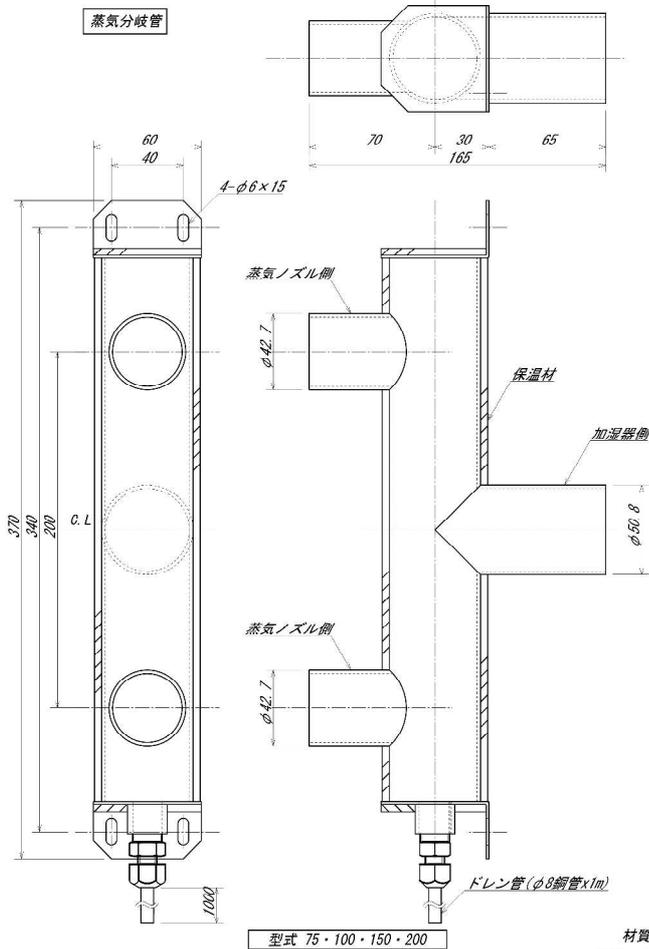


蒸気ノズル組合せ(標準)

加湿器型式	ノズルサイズ	個数	A	B	C	D	P	n	図
UC-YD10(R)	L150	1	150	100	20	20	20	12	X
UC-YD20(R)	L300	1	300	200	45	42.5	25		
UC-YD30(R)	L450	1	450	340	55	55	20		
UC-YD40(R)	L600	1	600	595	160	205	35		
UC-YD50(R)	L900	1	900	850	100	250	50	Y	
UC-YD60(R)	L1200	2	1200	1190	210	70			
UC-YD75(R)	L1500	2	1500	1190	210	70			
UC-YD100(R)	L1500	2	1500	1190	210	70			
UC-YD120(R)	L1200	4	1200	850	250	50			
UC-YD150(R)	L1200	4	1200	850	250	50			
UC-YD200(R)	L1500	4	1500	1190	210	70			

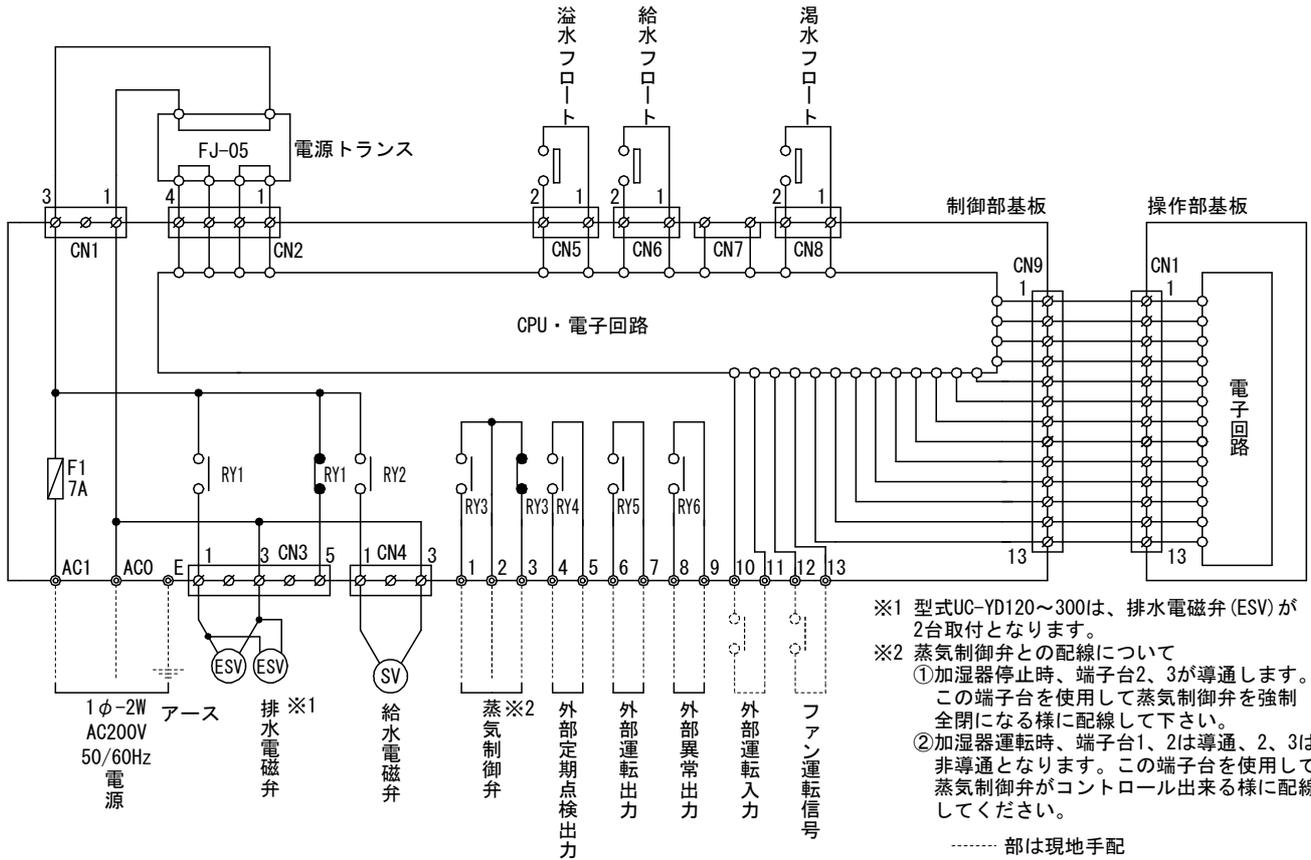


加湿蒸気配管部品図



材質SUS-304
(標準・純水仕様)

電気回路図
UC-YD10~200



保証規定

1. 本製品の保証期間は、工場出荷後から一年間です。
2. 保証期間中の「正常な使用状態」において「製造上」の責任による故障が発生した場合は無償修理を行います。
3. 次の各号につきましては「保証対象外」ですので有償となります。
 - (イ) 添付の使用説明書の説明をお守りにならなかったために発生した故障の場合
 - (ロ) 故障原因が本器以外による故障の場合
 - (ハ) お客様が商品に改造を加えたために発生した故障の場合
 - (ニ) 天災、火災その他不測の事故による故障の場合
 - (ホ) お買いあげ後の輸送、移動などによる故障の場合/
4. 遠隔地への出張サービスを行った場合の宿泊及び交通の費用は、弊社旅費規定によりその費用を請求させていただきます。
5. 本商品の保証修理以外の補償はいたしかねます。
6. 本保証は、日本国内においてのみ有効です。

UCAN®

ユーキャン株式会社

本 社 ●〒193-0832

東京営業所 ●〒160-0022

大阪営業所 ●〒541-0046

名古屋営業所 ●〒460-0002

福岡営業所 ●〒812-0027

東京都八王子市散田町5-6-19

TEL. 042-665-8846 FAX. 042-661-3887

東京都新宿区新宿1-1-7 コスモ新宿御苑ビル

TEL. 03-5379-1461 FAX. 03-5379-1460

大阪府中央区平野町1-7-14 平野町グランドビル

TEL. 06-6227-1317 FAX. 06-6227-1319

名古屋市中区丸の内3丁目2-1-2-3 宇佐美丸の内ビル

TEL. 052-385-3298 FAX. 052-385-3606

福岡市博多区下川端町1-3 明治通りビジネスセンター別館

TEL. 092-281-9241 FAX. 092-281-9244

- なお、記載された商品の仕様・デザインなどは、改良のため予告なく変更する事がございます。ご了承下さい。

<http://www.ucan.co.jp/>

info@ucan.co.jp

No.2181213